

令和6年度「東京藝大アーツプロジェクト実習」募集要項

1. 講座趣旨

近年、日本全国や様々な地域で自治体や企業等と連携したアーツプロジェクトの要望が増えており、一方では、アーツプロデュースの人材が不足しています。

本学における専門教育では、これまで専門領域の技術や知識等を提供し、優れたアーティストや教育者、研究者を輩出してきましたが、急激な社会の変化のもと、アーティストに求められる資質・能力も一層多様化している現実があります。

そうした状況に対応するために、社会連携センターでは、社会において生きて働く様々な力(プロデュース力、コーディネート力、コミュニケーション力など)を養うことのできる「東京藝大アーツプロジェクト実習」講座を開設します。

基礎講座と実践講座から構成される本講座は、小規模なアーツプロジェクトを中核として、自らの専門実技を生かしながら、主体的にプロジェクトを企画立案・運営したり、コーディネートしたりすることのできる人材の育成を目指すものです。

また、受講修了者には、資格(修了)証明書「文化芸術アソシエイツ」を授与いたします。

<文化芸術アソシエイツとは>

この用語は、そもそもは、文化庁と芸術系大学コンソーシアム(JUCA)との連携事業(若手人材育成)で使われた称号で、基礎講座を受講し、かつ復興支援プロジェクトに関わった若手アーティストに履修証明の証として与えたものです。この用語の商標は、東京藝術大学が保持しております。

「文化芸術アソシエイツ」の基本的な考え方としては、実技系学生(卒業生)が美術作家、演奏家と協働(コミュニケーション)しつつ、地域にある「文化芸術資源」を再発掘(利用)し、芸術(アーツ)、文化、産業、食、祭り、遺産など様々な他分野を取り込んだアーツプロジェクトの企画運営等のリーダーと定義しております。

2. 応募資格

東京藝術大学に所属する学部生および大学院生のうち、アーツプロデュース関連分野に興味がある者で、下記5に表記される基礎講座(必須)と実践講座(選択必須)に参加できる者とする。

専攻・専門分野は問わない。令和4年度・令和5年度に受講した者も履修を認める。

3. 定員

全体で40名を予定

※ただし各プロジェクト(実践講座)の定員は担当教員の判断により設定する場合がある。

4. 履修期間

令和6年6月開講～令和7年3月修了

5. カリキュラム等に関して

令和6年度 東京藝大アーツプロジェクト実習は、基礎講座と実践講座に区分し、基礎講座は実践プロジェクト毎で設置する。なお、講座説明会及び最終講義は共通参加とする。また、実践講座はアーツプロジェクト・コーディネーター(指導教員)によるインターン制度を導入し、アーツプロジェクト・コーディネーターと一緒に、アーツプロジェクトを実施する。受講時に実践講座のアーツプロジェクト・コーディネーターのうち指導を希望する教員を選択する必要がある。

(1) 講座説明会、基礎講座

回	実施日時/場所	テーマ	担当教員
講座説明会	令和6年6月12日(水) 18:00～19:30 /音楽学部(5-109)	初回ガイダンス、プロジェクト紹介等	中村政人 教授 伊藤達矢 教授
基礎講座	ガイダンスやクラスルーム等で別途案内	※実践プロジェクト毎で設置する (実践講座のテーマに準ずる)	
基礎講座 (最終講義)	令和7年3月中を予定 /別途案内	振り返り、閉講式等	中村政人 教授 伊藤達矢 教授

(2) 実践講座

アーツプロジェクト・コーディネーターの氏名及び所属	実施地域	アーツプロジェクトのテーマ・概要
伊藤 達矢 教授 東京藝術大学 社会連携センター	取 手 第1 プロジェクト	テーマ：「生活圏のアートプロジェクトが街の資源と表現をつなぐ」 概要：多様な人々の生活の場である地域社会で行われるアートプロジェクト。多様な属性の人々が活動するアートセンター的機能を担い始めた本学取手校地および取手駅ビルの産官学連携の交流拠点「たいけん美じゅつ場」ほか市内各所を拠点として活用し、場・人材・街の特性など種々様々な地域のリソースと、生活者、そして芸術をつなぐプロジェクトを企画して実践します。今期は11月末の「取手藝祭」での実践とともに、取手アートプロジェクト25周年の特別クリエイションへの参加も可能です。地域で続いてきたアートプロジェクトが持つ基盤をベースに、企画実践、またマネジメントへの参画を通して、現在を生きる人々とつながる芸術活動の可能性を探り、学び合う場をつくります。
中村 政人 教授 東京藝術大学 美術学部	上 野 第2 プロジェクト	テーマ：「藝大上野校地及び上野駅交番跡地のギャラリー“es”における作品企画展示アートプロジェクト」 概要：藝大上野校地及びJR東日本×藝大のプロジェクトによるCREATIVE HUB UENO “es”を活動の軸として空間資源リサーチ、学内各部局・企業との調整、学生作品選出、作品展示計画、展示施工、展示記録と作品を展示するまでのプロセスを実践的に学ぶ。上野校地では、作品があまり展示されていない学内の日常空間にアートを取り入れ、また“es”では一企画を組み立て展示する。藝大だからこそできる空間表現を目指し、アートを社会発信していく。 es= https://ueno-es.jp/

※随時実践講座候補地の追加や内容変更がされる場合がある。

※実践講座の選択時期については別途案内する。

6. 受講申込方法

Googleフォーム（社会連携センターのホームページ内設置）にて受講申込を行う。なおフォーム内容は、「自身の専攻・専門分野」「創作、演奏、研究活動歴」「受賞歴」などを事前聴取する。

7. 申込期間

令和6年5月28日（火）～6月16日（日）締切

8. 受講案内

受講申込時に申込フォーム内で案内する

9. 修了要件

出席率、インターン態度及びレポート等により評価を行い合格した者

10. 問合せ先

東京藝術大学社会連携センター
E-mail sharen-c@ml.geidai.ac.jp

11. 特記事項

- ・本年度は単位の認定対象ではありません。
- ・基礎講座は必須の参加をお願いしていますが、万が一参加が難しい方向けに救済措置を用意する予定です。その際は受講時にご相談ください。
- ・応募の際に提出いただく個人情報は、本講座の関連業務のみに使用し、それ以外に使用することはありません。
- ・授業で使用する言語：日本語(Japanese language)